

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 6. 6 第 186 回国会第 8 号

6 月 6 日（金）、第 8 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件

- ・小野寺防衛大臣、岸外務副大臣、武田防衛副大臣、若宮防衛大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 辻 元 清 美君（民主）

- ・安倍内閣総理大臣が、安全保障に関しては起こり得るかもしれない事案についてあり得ないと言い切ることが政治家として無責任であると述べたことについて、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・米艦への攻撃を我が国が集団的自衛権を行使して防護した場合、報復として原発へのミサイル攻撃を受ける恐れがあることまでも想定して、集団的自衛権に関する議論を行うべきではないか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・国際紛争への関与に限定的はあり得ず、限定容認論は論理的にも現実的にも成り立たないと考えるが、横畠内閣法制局長官の見解を伺いたい。

### 渡 辺 周君（民主）

- ・駆け付け警護を可能とすることは必要と考えるが、小野寺防衛大臣はどのように考えているのか伺いたい。
- ・在アルジェリア邦人に対するテロ事件を踏まえ、アフリカ地域の防衛駐在官を増員する代わりに、ウクライナへの防衛駐在官派遣を停止する予定はあるのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・第 13 回アジア安全保障会議（シャングリラ会合）（5 月 30 日～6 月 1 日）において、韓国政府との軍事情報包括保護協定（GSOMIA）締結に対する意欲について、小野寺防衛大臣はどのような感触を持ったのか伺いたい。

### 伊 佐 進 一君（公明）

- ・集団的自衛権の行使を可能とすることによる抑止力の効果と国際紛争に巻き込まれるリスク又は安全保障のジレンマが引き起こされるリスクのどちらが高いと考えるのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国による集団的自衛権行使を容認することが、我が国の先制攻撃を可能にすることにならないことを外務省

に確認したい。

- ・「日米防衛協力のための指針」（ガイドライン）の見直しを本年末までに必ず行わなければならない理由はあるのか、防衛省の見解を伺いたい。

### 中 山 泰 秀君（自民）

- ・北朝鮮、韓国及び日本は国連加盟国中、何か国と国交を樹立しているのか、外務省に伺いたい。
- ・我が国は、朝鮮半島においては韓国以外に正統政府はないという国連総会決議第 195 号（Ⅲ）（1948 年 12 月 12 日）を尊重するのか、外務省に伺いたい。
- ・現在における国連憲章が規定する敵国条項の有効性に関する外務省の認識を伺いたい。

### 武 藤 容 治君（自民）

- ・内閣総理大臣その他の国務大臣が国務大臣としての資格で靖国神社に参拝することは違憲の疑いを否定できないという昭和 55 年 11 月 17 日の政府統一見解を、中曽根内閣総理大臣が「閣僚の靖国神社参拝問題に関する懇談会」を設置した上で変更したことについて、横畠内閣法制局長官はどのように考えるのか。
- ・ガイドラインの見直しに関する今後のスケジュールについて、防衛省の見解を伺いたい。

### 宮 沢 隆 仁君（維新）

- ・歴代の防衛医科大学校長は全て慶応大学医学部出身者であるが、今後も同大学出身者を登用していく予定か、防衛省に伺いたい。
- ・集団的自衛権行使やグレーゾーン事態等に関して事例を挙げて議論を行うと、事例にない想定外の事態が発生した場合に対応ができなくなると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国による集団的自衛権行使を容認する場合、地理的な限定を設けた方が国民の理解を得やすいと考えるが、

小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

### 今村 洋史君 (維新)

- ・本年3月に外務省がASEAN7か国に対して実施した対日世論調査のうち、ミャンマーにおける調査結果の詳細について、外務省に伺いたい。
- ・我が国とミャンマーの関係及び中国とミャンマーの関係の現状に関する外務省の認識を伺いたい。
- ・昨年10月に実施された海上自衛隊練習艦隊によるヤンゴン初寄港や、同年11月の日ミャンマー防衛当局間協議の開催など、我が国とミャンマーの防衛交流の意義について、小野寺防衛大臣に伺いたい。

### 玉城 デニー君 (生活)

- ・現在、我が国で行われている集団的自衛権の行使に関する検討について、米国から我が国に対し何らかの意見や要望等はあるのか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・本年4月25日に発表された日米共同声明において、在日米軍の基地機能強化ととれる文言と同時に、沖縄への米軍の影響を軽減するという記述があるが、両者の整合性について、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・ガイドラインの改定作業と同時期に、我が国における集団的自衛権行使容認の検討が行われていることから、ガイドラインで定める我が国の役割が拡大するのではないかと懸念されるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

### 三谷 英弘君 (みんな)

- ・米国の要請を受けて我が国が集団的自衛権を行使した場合、自衛隊は米軍の指揮下に入ることになるのか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・現在休戦中の朝鮮戦争が再開した場合、米軍が国連軍として戦闘を行うことが考えられるが、その際の米国による武力行使の性格は、集団的自衛権の行使と集団安全保障措置のいずれになるのか、外務省の見解を伺いたい。
- ・米国が集団的自衛権を行使している場合、米国は、集団的自衛権行使を他国に要請できるのか、外務省の認識を伺いたい。

### 赤嶺 政賢君 (共産)

- ・政府は、今年3日に行われた「安全保障法整備に関する与党協議会」において、自衛隊が多国籍軍に行う支援を制限するいわゆる「武力行使との一体化」の基準を大きく緩和する新しい基準案を提示したが、両者の整合性について、内閣官房の見解を伺いたい。
- ・現在のイラクにおける宗派対立に基づく治安の悪化の原因は、米国によるイラク戦争とその後の占領行政にあると考えるが、我が国がイラク戦争を支持し、占領行政に協力した責任について、小野寺防衛大臣はどのように認識しているのか。
- ・5月28日にオバマ米大統領が行った陸軍士官学校における演説は、軍事行動から外交による問題解決に軸足を移したと評価するが、同演説に関する外務省の認識を伺いたい。

### 照屋 寛徳君 (社民)

- ・駐留軍等労働者が未払賃金の支払を求めた訴訟において、6月5日、雇用主の我が国政府に対し、従業員176人の未払分と制裁金にあたる「付加金」の計約400万円の支払を命じる那覇地裁判決が確定したが、今後、付加金について米国へ求償することを考えているのか、防衛省に伺いたい。
- ・これまでの米軍飛行場等に係る爆音被害の損害賠償金として、周辺住民に対し約202億800万円が支払われているが、日米地位協定第15条5項に定められた米側分担金の支払に関する交渉は、本問題を2011年2月17日に開催された予算委員会で質して以降、何回行われたのか、また、米側が分担金の支払に応じない理由について、外務省に伺いたい。
- ・平成23年3月、外国籍の駐留軍等労働者の給与が、いわゆる思いやり予算から支払われているという報道がなされたが、平成22年から平成25年の間に、思いやり予算から給与が支払われていた外国籍の駐留軍等労働者の人数を防衛省に伺いたい。